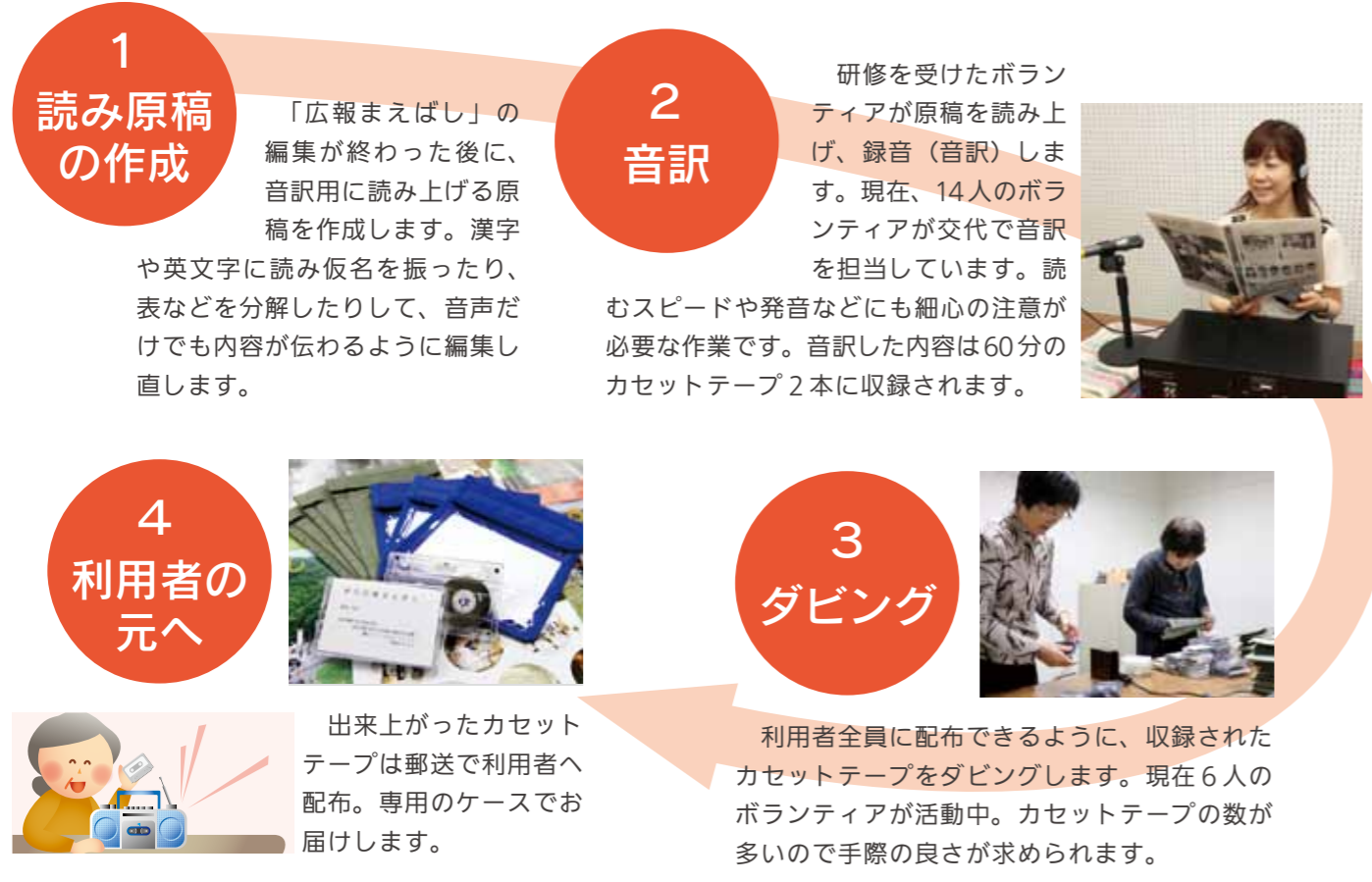


視覚障害者のための もう一つの広報「声の広報」

本市では、昭和56年から視覚障害者に情報を届けるため、本紙を音声で聞くことができる「声の広報」を発行しています。ここでは、声の広報ができるまでの流れを紹介します。



利用者募集
声の広報の利用者を募集。登録制で随時受け付けています。電話で利用方法を説明しますので、詳しくは問い合わせください。
申し込み＝市政発信課 ☎027-898-5847へ



昭和25年9月1日掲載

インドから上野動物園に送られたゾウなどが本市にも。

ネズミを捕まえるとキャラメルと交換なんて、今では考えられませんね。



昭和29年11月1日掲載

今で言えば、市がウエディングドレスのレンタルをしていたなんて驚きです。



昭和27年9月1日掲載

クリスマスツリーや門松を自粛して森林環境保護ということでしょうか？



昭和31年12月15日掲載



昭和30年5月1日掲載

当時の体温計は精度が悪かったんですね。正確な計測が、健康管理の基本。

昔はこんなこともやっていた

印刷設備を紹介します

「広報まえばし」は、市内の印刷会社にあるA横全判オフセット輪転機で印刷。16ページであれば、1時間あたり約4万8,000部を刷ることができます。品質基準や温度・湿度などの環境の変化に応じて、最適な色を自動調整。記憶・最適化を繰り返して自ら成長する自己学習機能も搭載されています。



印刷の様子を動画でご覧いただけます。上記2次元コードを読み取って、スマートフォンまたはタブレット端末でご覧ください。



■あともがき
本紙は皆さんに支えられて、昭和25年の発行から今回で1500号を迎えました。いつもご愛読いただきありがとうございます。市民と行政を結ぶ最も身近な情報伝達手段として、皆さんに知っていただき

たい情報を掲載してきました。これからも読みやすいことはもちろん、手に取って読みたくなるような紙面づくりに努めていきます。今後も「広報まえばし」をよろしくお願ひします。

INTERVIEW インタビュー

本紙について日頃感じていることを聞いてみました。



下新田町 町田 久仁子さん

絵本の読み聞かせなど、子どもと一緒に参加できるような講座の案内を、よく読んでいます。子育てに関するさまざまな情報が集約して掲載されているといいですね。



上泉町 吉田 卓一さん

情報が幅広く掲載されているので、より多くの人に読んでもらえるといいかなと思います。市民が参加し、交流したくなるような紙面づくりを期待します。